

# 国際看護

The International Nursing Report by  
The International Nursing Foundation of Japan

発行人  
財団法人 国際看護交流協会  
理事長 小倉 一春  
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-4  
メヂカルフレンドビル内  
電話 (03) 3264-6667  
FAX (03) 5275-3499  
http://webclub.kcom.ne.jp/mc/inf/  
E-mail: infj@mc.kcom.ne.jp

平成13年11月10日 第364号

## 路上生活者に支援施設を！ —— 都心の難民への看護 ——

### ★支援金あて先★

郵便振替口座番号 00130-3-664844

加入者名：山谷・すみだリバーサイド支援機構

### ★お問い合わせ先★

山本雅基

山谷・すみだリバーサイド

支援機構代表

〒130-0026

東京都墨田区両国2-1-9

☎03-3635-9853



路上生活者（ホームレス）の増加が危惧されて久しい。国境なき医師団（MSF）は、元来は海外医療支援を目的としたNGOだが、窮乏した彼らを支援する国内のNPO（非営利組織）とタイアップして、路上生活者の支援活動に乗り出した。私は今年の一月から六月まで、そのNPOの活動に参加した。活動の内容はMSFの看護婦や医師と一緒に都内の路上生活者の元を訪ね、おにぎりを配りなが

ら、彼らの健康度をチェックするというものである。行く先々で私たちは、長年にわたる厳しい生活環境、栄養不足、過度なアルコール摂取により健康状態を著しく損ねた多くの人に会った。がん末期だが医療を受けていないと告白する人、汚れきった身体で尿を垂れ流し横臥する老人、精神障害で徘徊・放浪の末に行き倒れ同然で河川敷に倒れこむ人。

私は医療による支えとは無縁ともいえる状況におかれたその姿に、彼らを差別し、放擲する、豊かな社会の無情さに悲しみと怒りの思いを禁じえなかった。

そんな止むにやまれぬ心境から、今年一月、路上生活者に対するホスピス・ケアを含めた看護・介護施設開設の運動を開始した。彼らに雨露をしのげる場所を提供し、あたたかい毛布とスロープで身体を休めてもらい、心のこもった看護による支えで人間としての尊厳を取り戻してほしいと願うからだ。

社会から見捨てられた最

も貧しい人々のなかで共に生き、あのマザーテレサが「死を待つ人の家」で実践したと同じような考えに立った活動が現代の日本でできないはずはない。私は、彼らが親しみのこもった丁寧な入浴介助や清拭をおおして、人の手のぬくもりを感じ、それを看護者の心のハグ（抱擁）として受け入れたとき、劇的な人間性の回復といやしが起こると信じている。

この施設の開設とこの活動への看護職の方の参加によって、ここが看護の本質である愛の発露の場となるよう祈りながら、多くの支援者・協力者が現れてくれることを願いながら、声かけを続けている毎日である。読者の皆様のご理解を心から求めたい。

（山本雅基・山谷・すみだリバーサイド機構代表）